

宮崎大学発 都農町かわら版

令和6年5月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

都農ワイン
大好きです！



☆☆都農にいる宮大のひとたち紹介☆☆

佐伯 浩之（さえき ひろゆき）先生
地域資源創成学部客員教授

宮崎大学大学院地域資源創成学研究科修了（2022.3）
元新聞記者。2023.10～現職

～～～プロフィール～～～

山口県出身、岡山市育ち。趣味：テニス、ドライブ、野球観戦

昨年9月、33年半勤務した福岡市の新聞社を定年まで約7か月を残して退職し、同10月から地域資源創成学部客員教授として研究職に就きました。記者時代には、事件事故などの取材に加え、台湾・台北に特派員として3年間駐在して、海外文化にも触れました。宮崎には2回赴任して計5年半勤務しながら宮大に通いました。

現在、2010年に起きた家畜伝染病「口蹄疫（こうていえき）」が及ぼした地域への影響などを調べるために町内の方々に聞き取りをしています。都農町の重要な歴史を後世へ伝えるため、畜産を地域資源の切り口に、口蹄疫からの復活の軌跡をオーラルヒストリー（口述歴史）としてまとめます。

当時の状況などを詳細にうかがうには町民のみなさんのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。



PBL I・II、31名で今年度も始動！

地域学部

開講2年目となるPBL Iは1年生20名、PBL IIは昨年の受講者の2年生を中心に11名が受講しています。総勢31名で授業を開始しました。第一回の5/1、財団の山内さんが都農町の現状と、若者と一緒に活動したいことなどを説明し学生からの質問に答える講義を大学で行いました。



今後はグループに分かれて各プロジェクトを企画・実践していきます。

5/11・18 1年生90名が地域資源マップ作りのための町歩きをしました。各所でお世話になりました。

両日とも天候に恵まれ、学生たちが22班に分かれて町歩きをしました。山末地区では子ども食堂で学生がカレーをごちそうになり、坂田町長とも対面。その他の地区でも多くの町民の方々が作業の手を止めて学生にお話をしてくださいました。初めての地域実習で人の温かさを肌で感じ取った一年生たちでした。皆様に心より感謝申し上げます。



実習で財布落とすハプニング！学生より御礼

5/11の町歩きでのこと。私は不覚にも財布を落とし、気づいたのは夕刻、美々津駅から一文無しの状態で彷徨い探し回りました。都農町では、交番の場所もわからぬままだった私ですが、道中で店員さんや通行人の方々に道を尋ねると、快く教えてくださり、中には地図を印刷してくださる方も。交番に届けてくださった方はもちろんのこと、都農の方々にはとても感謝しています。同日21時過ぎに無事に交番にたどり着き、財布を受け取りました。ありがとうございました！！

このような素晴らしい人々のつながりに触れ、地域のつながりが持つ意味を再確認しました。今後はより一層努力し、都農の方々に恩返しできるよう努めます。（地域学部1年 田中真人）

シリーズ医学生に密着 ① 訪問診療実習

皆さんは、「在宅医療」って聞いたことがありますか？
通常、病気になったら病院に行って医師の診察を受けるのですが、通院が困難な場合や、病気の種類（がんや難病、老衰など）によっては医師や看護師が自宅に行ってケアを提供する場合があります。「住み慣れた地域で患者さんたちが暮らせる」ために推進されている医療提供の形です。

町立病院では、この在宅医療にも力を入れています。医学校での教育のほとんどは大きな病院での実習ですが、宮崎大学でも、学生が在宅医療を学べるように体制を整え少しずつ力を入れています。

先日の実習では、ご家族の許可をいただいて訪問看護や訪問入浴の後に畑への外出支援をしました。病気のことだけでなく、患者さんの生い立ちや生業、ご家族の思い、ご近所や友人の支えなどを理解する上でも貴重な学びの機会になっています。



コラム つのまるケア講座 日常の一コマ by 吉村先生

私は宮崎市内から電車で通勤しています。朝5時半過ぎに自宅を出て6時40分過ぎに都農駅で下車。都農駅の歩道橋から見えるヤマとウミの景色はきれいです。てくてくと約30分、病院まで歩きます。おかげさまで毎日1万歩を超えています。何回か知り合いの人に「先生、乗っていく？」と声かけられましたが遠慮させていただいております。行き帰りで町民の皆さんや小学生にすれ違うことがあります。挨拶を交わすと、とてもハッピーな気持ちになります。😊👏 (吉村)

5/17自治会長会総会で地域・医学部講座からご挨拶＆卒論実習成果ポスター集を配布。

全地区自治会長の集まる総会の場に、日ごろの御礼とご挨拶に寄附講座両学部教員がお邪魔しました。地域学部ではこれまでの学生活動成果をまとめたポスター集を会長様全員にお渡ししました。皆様でご覧いただき、関心を持った内容などがありましたら、研究室宛てに直接ご連絡ください。連絡先は、ポスター集裏面にある電話番号まで。



☆☆今月の研修医紹介☆☆

中野靖子（なかの やすこ）先生 5/1～5/30 町立病院にて研修

都城の藤元総合病院から5月の1か月間、地域医療の研修で都農町立病院にお邪魔いたしました。初めての他病院での研修で非常に緊張していましたが、人にも環境にも恵まれて充実した日々を過ごす事ができました。

病院内の業務の他にも、新緑鮮やかな中で都農の海の幸山の幸をBBQで堪能し、搬送後の救急車の中から海岸線の景色を眺め、庭の木からもいだ夏みかんを賞味し、と都農を感じ、一期一会という言葉を噛み締めながら過ごした日々でした。どうもありがとうございました！



☆☆今月の実習生紹介☆☆

越智朋哉（おち ともや）さん

医学部医学科6年生 5/1～5/30 地域包括ケア実習
愛媛県出身 部活：ソフトボール部、ゴルフ部

ひと言：都農町の皆様のご協力があって、大学病院では経験できないこともたくさん経験でき、とても勉強になりました。都農町での経験をこれからの実習でも活かして頑張ります。1か月間ありがとうございました。



健康相談会&医学生と交流しませんか？

自治会長会総会の場でもご案内しました通り、医学部では今年度より各地区での健康相談会を再開したいと考えています。我が地区で開催したいという方は、日時や内容の調整をしますので、関心のある健康テーマと地区代表者連絡先を下記財団宛てにお知らせください。講座教員、担当からご連絡します。

テーマ例）在宅医療、冬場に多い感染症、予防接種、熱中症予防、糖尿病、認知症、発達障がい、うつ病、総合診療医、マダニ感染症、禁煙など（これ以外のテーマでも結構です）。

老人会や多世代での集まりのきっかけづくりに、活用ください。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2024年5月23日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）